

地域の子供は地域で守り、地域で育てる!!

広島県庄原市

■ 活動名

山内放課後子ども教室

■ 関係する学校

庄原市立山内小学校

活動区分	基本データ			
	学校支援 地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	9人	239日	有
	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
庄原市山内自治振興センター		22年度	無	
コミュニティ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

山内放課後子ども教室は、安全・安心な子供の活動拠点を設け、地域住民の方々の参画を得て、子供たちとともに、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの取組を推進することを目的に活動を行っている。

活動は、放課後や長期休業中の子供たちの活動拠点を提供するだけでなく、指導方針を定め、地域住民の方々の参画を得ながら活動を行っている。

具体的には、英語、音楽、星の観察などの学習活動、サッカーやドッジボールなどのスポーツ活動、川遊びやジャガイモ栽培などの自然体験活動、地域行事を通じた地域住民との交流活動など、多彩な活動を行っている。

活動の拠点は、小学校に隣接している自治振興センター(旧公民館)で行っており、平日は、下校時から午前6時30分まで、長期休業中は、午前8時から午後6時30分まで活動を行っている。

また、自治振興センターを活動拠点にしている利点を活かし、教室の活動成果を展示するなど、地域住民の方へ広報活動を行っている。



英語学習の様子

■ 特徴

[特徴的な活動内容]

- 教室での活動成果を地域行事で発表
文化活動で取り組んでいる人形劇を、地域行事「ふるさと祭り」で発表し、地域住民の方々へ教室の活動成果を披露するとともに、活動への参画を図っている。
- 教室独自の学習教材(英語)の作成・活用
毎月2回(第2、第4金曜日)英語の学習活動を行っている。教材は、教育活動推進員を中心に作成し、継続した学習活動を行っている。
- ボランティア活動の実施
毎年、地域にある原爆慰霊碑の清掃をボランティア活動として行い、8月6日の原爆の日に関し平和学習を行っている。
- 地域住民の方々による多様な活動
地域住民の参画により、14人の教育サポーターが、多様な活動を展開している。
<主な活動>
○自然体験活動(川遊び、カヌー体験、蚕の飼育と糸取り、農作物栽培等)
○遊び・体力づくり(バンブーダンス、卓球、一輪車のり、ドッジボール等) ○学習活動(読み聞かせ、英語、音楽等)
○文化活動(人形劇の取組等) ○行事の企画活動(節分、クリスマス会、七夕、雑流し等)
○その他
(食事づくり、ふるさと祭りの参加(地域交流)、社会教育関係施設での活動等)

[実施に当たっての工夫]

- 指導方針を定めた教室運営
登録児童が、自分のやりたいことや楽しいことを活動するのではなく、学習活動やスポーツ活動、体験活動などの様々な活動を通して、難しいことにも丁寧に、最後までやりきる力や仲間と協力する力、好奇心や考える力、感動する心を育てるために、5つの指導方針を定め活動している。
<指導方針>
①安心して、安全に過ごせる場とする。
②将来、誰からも信頼される人になるために、人間性を育てる場とする。
③集団の中での在り方を身につけさせる場とする。
④集団での活動の決まりを守らせる。
⑤保護者、学校の連携を密にする。
- 指導者会議を開催(毎月1回)
毎月1回指導者会議を開催し、その月の活動内容を検討するとともに、指導者の意識統一を図っている。



原爆慰霊碑の清掃と参拝の様子



蚕の飼育の様子

■ 事業を実施して

保護者からは、「基本的生活習慣が向上した」などの感想が寄せられ、家庭ではできない様々な体験的な活動を通して、子供の成長が見られることへの高い評価を得ている。

また、教室内での異年齢交流だけでなく、教育サポーター、地域住民と関わる機会が増え、地域全体で子供を育成する仕組みが確立している。